

保健福祉総務課長 様

道路建設課長

設計支援委員会結果報告書

平成15年6月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>岡山駅東口・表町地区整備事業(市道丸の内16号線) 施工箇所 : 岡山市 丸の内二丁目 地内 施工内容 : 延長L=160.0m、幅員W=13.0m</p>	
<p>設計支援委員からの意見</p>		<p>具体化の結果・状況</p>
<p>(1)電柱の移設について ・現況歩道部にある電柱等は歩行の障害にならない箇所に移設して欲しい。 ・現在、道路の両側にある電柱を一本化して図書館用地に設置し歩道から外して欲しい。</p> <p>(2)点字ブロックについて ・交差点部には注意喚起用の点字ブロックを設置するようだが、点字ブロックと出入口用縁石を設置することによって段差が出来て車椅子での通行が困難になると思われるので、支障のないようにして欲しい。 ・段差が2cmだと車椅子での通行が困難で、1cm以下にすると、視覚障害者が段差を白杖で認識できずに横断歩道の存在を確認できない。解決して欲しい。 ・図書館周辺の点字ブロックと今回の点字ブロックは連続性を持たせて欲しい。</p> <p>(3)インターロッキングについて ・視覚障害者に点字ブロックとインターロッキングの区別がつかないのではないかと。</p>		<p>・電柱管理者(NTT、中国電力)、県立図書館管理者(岡山県)と協議を行い、出来る限り歩行の障害にならない箇所への移設を検討します。</p> <p>・(歩道部に従来の点字ブロックを設置することに加えて、)横断歩道部にはエスコートゾーンを設置し、点字ブロックとの連続性の確保と、段差の解消(段差1cm以下)を図り、視覚障害者や車椅子利用者の方々にも安心をして安全に道路の横断をして頂くことの出来るように配慮を行いたいと思います。</p> <p>・既設点字ブロックとつなげ連続性を確保します。</p> <p>・点字ブロックには黄色、JIS規格の形状・配列のものを用品。また、インターロッキングの配色等にも配慮をし、合わせて視覚障害の方が点字ブロックを形・色・材質等で認識しやすいようにしたいと思います。</p>

・インターロッキングはアスファルト舗装に比べて車椅子での移動がしにくい。施工してから時間がたち古くなるとガタガタになり、移動が困難になるため、アスファルト舗装の方が良い。周囲との景観の調和を図るならば、アスファルト舗装に色を塗ればいいのか。

・駐車場の出入口に面する歩道部のインターロッキングは傷みやすいのではないかと。何か対策をして欲しい。

#### (4) 縦断勾配、横断勾配について

・出入口等で突然勾配が変化すると大変歩きにくいので、縦横断勾配ともに一定にして欲しい。

・岡山県庁・岡山城周辺道路、岡山県立図書館(建設中)でインターロッキングを使用しており、本路線は周辺環境(道路・施設)と一体であるものと考えてインターロッキングでの施工を考えています。施工にあたってはできるだけ目地幅を詰め、地盤の悪い場所や車が乗り入れる箇所等については路盤構造を含めた配慮をして耐久性を高めたいと思います。また、濡れても滑りにくい材料を使用するなどして、多くの利用者が安全で円滑な通行の出来る歩道を考えています。

・車が横切ると思われる部分に関するインターロッキングの路盤構造を見直し耐久性を高めたいと思います。

・道路隣接地権者との協議を行うとともに、可能な限り平坦性を確保しつつ、縦横断勾配ともに基準値内での設計を行いたいと思います。